

# 2011年度通研共同プロジェクト研究会開催案内

「GlobalにCompetitiveな学生輩出のためにI-産業界の期待」

於東北大学片平キャンパス サクラホール, 7月4日

主催：小電力無線通信プロジェクト研究会 (通研共同プロジェクト研究)

日本の将来は若手にゆだねるところ大であります。論理的に物事を考え、プロアクティブに行動し、グローバルに活躍できる若者は多くなく、諸外国に対する日本の相対的地位は長きにわたり年々低下しつつあります。そこで、本セミナーでは「GlobalにCompetitiveな学生」輩出のためにI-産業界の期待」と題して産業界(及び元産業界)の有識者、大学でそのような事例の分析等をしておられる大学の先生にご講演をいただき、問題の本質・社会的な取り組みの必要性・若手に期待する資質等について理解を深めます。また、続くパネル討論では産業界の第1線で高い動機付けに成功している例等も紹介いただき、「学生・大学への期待」への理解を深め、学生の動機付け・学生指導指針等、大学における課題明確化の糸口をつけることを目的とします(10月末のセミナーは「GlobalにCompetitiveな学生」輩出のためにII-大学は何をすべきか」を主題とします)。

## 第1回 「GlobalにCompetitiveな学生輩出のためにI-産業界の期待」

- ・ 開催日: 7月4日(月)
- ・ 時間: 13:00-18:00
- ・ 場所: 東北大学片平キャンパス サクラホール

- WHO SHOULD ATTEND -  
“就職予定の学生”  
“日本の未来を担う先生”  
(参加費無料)

### プログラム

開催挨拶 13:00 -

基調講演 1 宮武 久和氏 (シャープ株式会社)

「大学のグローバル化に向けて～産業界からの期待～」

基調講演 2 多田 順次氏 (東北大学)

「社会から期待される大学・学生とは」

基調講演 3 加藤 修三氏 (東北大学)

「産業界から大学・学生への期待 - 日米の違い: 日米での採用経験から」

Coffee break 15:20 - 15:40

基調講演 4 宮本 みち子氏 (放送大学)

「変化する労働の世界と教育改革」

パネル討論 「大学・学生への産業界からの期待」 16:30 - 18:00

司会: 加藤 修三氏 (東北大学)

パネリスト: 宮武 久和氏 (シャープ株式会社), 多田 順次氏 (東北大学), 宮本 みち子氏 (放送大学)

懇親会 18:00-19:00 参加費: ¥1,000 学生無料

参加お申込: 東北大学電気通信研究所 庄子 友佳子

Tel: 022-217-5477 E-mail: yukako.shoji@riec.tohoku.ac.jp

# 2011年度通研共同プロジェクト研究会第1回セミナー 基調講演講師の紹介

## 2011年度通研共同プロジェクト研究会開催予定

主催：小電力無線通信プロジェクト研究会(通研共同プロジェクト研究)

### 第1回セミナー 基調講演講師の紹介

**宮武 久和 (Miyatake, Hisakazu) 氏** 博士(工学) 東北大学

1977年3月 東北大学大学院工学研究科 博士前期の課程 応用物理学専攻修了, 同年4月 シャープ株式会社入社  
1991年4月 同社 超LSI開発研究所 主任研究員 集積回路プロセス要素技術開発に従事  
インテル(株)とフラッシュメモリーで協業: プロセス開発・歩留り向上技術  
1999年4月 (株)半導体先端テクノロジーズ(Selete) 出向 生産技術研究部副部長,  
International SEMATECHとウェーハ300mm大口径化技術で協業  
2002年4月 シャープ(株)へ帰任  
2006年4月 ~2011年3月 つくば半導体コンソーシアム(TSC) 研究交流推進委員会委員長  
現在 JEITA(電子情報技術産業協会) 他、半導体業界委員会 (SEAJロードマップ諮問委員会など) で活動。  
ナノエレクトロニクス分野において産総研、企業、大学などの間の研究交流と人材育成に従事



**多田 順次 (Tada, Junji) 氏**

1964年 大阪工業大学電気工学科卒、同年 タツタ電線(株)入社。1965年~1969年 東北大学工学部通信工学科佐藤利三郎研究室へ社内留学。1969年 タツタ電線(株) 復帰。1983年 同社退職。1983年 シャープ(株)入社。2003年 同社 定年退職。1996年~2001年 (株) 環境電磁研究所 非常勤取締役兼任。2003年 (株)国際電気通信基礎技術研究所【ATR】入社。2008年同社退職。2006年 東北大学電気通信研究所 特任教授。2009年 滋慶COMグループ学校法人早稲田電子学園東京コミュニケーション専門学校【TECH.C.】名誉教育顧問。2011年 同学園 東京デザインテクノロジーセンター専門学校 学校長。1973年「バイポーラパルス伝送用アクティブ線路に関する研究」にて、東北大学より工学博士の学位を授与される。★タツタ電線(株)では広帯域対形ケーブル、画像伝送用通信ケーブル、超細心同軸ケーブルなど、電電公社の通信ケーブルの研究開発及びEMCなど電磁ノイズの研究に従事。更に光ファイバケーブル事業を立ち上げて退職。★シャープでは社内ですべて初めて移動体通信事業に着手。微弱電波、特定小電力無線システム、PHS、携帯電話などの研究開発を担当。PHS、携帯電話については、基盤技術・技術者を通信システム事業本部へ技術移管、今日のシャープの携帯電話事業の基礎を築いた。事業化では京都大学工学部へ「コードレス投票システム」を納入、工学部教授会の運営の効率化に寄与。その後、大学との共同研究、国家プロジェクト(液晶テレビ含む、海外研究所の立ち上げなどの技術渉外業務及び採用活動支援で15年間にわたり技術者を約200人採用。国家プロジェクトの関連団体(郵政省、通産省、ASET、FED、INTAP、ISTEC他)及び学会などの運営委員・業務委員を兼任。★ATRでは技術リエゾンセンター長として、研究所の研究成果及び企業との共同研究などリエゾン業務に従事★TECH.C.では学校長として、学内の運営全般及び産業界との連携業務に従事。★現在の東北大学電気通信研究所では産官学連携プログラム、ブレインウェア研究会、通研共同プロジェクトの運営及び研究所全体のリエゾン業務に従事。特に研究所と民間企業との共同研究に力を注いでいる。



**加藤 修三 (Kato, Shuzo) 氏**

1977年東北大学大学院工学研究科博士課程修了(工博)、同年 現NTT電気通信研究所入社。1981年から1年間オタワ大学 Post-doctoral research fellowとしてカナダで勤務。1995年には日本にてパシフィック・コミュニケーションズ・リサーチKKを起業し、1996年にはユニデンKKの代表取締役社長となる。また、1998年にはMitsubishi Wireless, Inc., (USA) 上級副社長に、2001年には米国カリフォルニアにOmni Wireless, Inc., (USA)を起業したが、「911」で米国のVCファンディングが止まり、断念。2002年から3年間、「米国企業の成功例」に学ぶべくテラダインKKに勤務(代表取締役副社長)。日本の無線通信が相対的に多くの国に負けつつある状況を憂い2005年に独立法人情報通信研究機構(NICT) プログラム・ディレクターに、国際的にコンペティティブな博士を育てるため、2008年に東北大学電気通信研究所 教授(現在に至る)。この間、研究開発、製造、品質保証、国際標準化、日本及び米国にまたがる技術開発センターの設立と製品開発、製造、人材の採用、経理、製品開発、販売、マーケティング及び会社の設立から経営と数多くのグローバルな成功体験を有する。採用のため、日米で各1,000人以上をインタビュー。IEEE及び電子情報通信学会Fellow。



**宮本 みち子 (Miyamoto, Michiko) 氏**

放送大学教養学部教授、東京教育大学(経済学、社会学専攻)卒業後、お水女子大学大学院修士修了(社会学博士)。千葉大学教授、ケンブリッジ大学客員研究員を経て2004年より現職。専門は青年社会学・家族社会学。現代社会に特有の若者問題に関する国際比較研究に従事。若者の非正規雇用問題やニート問題に取り組む。労働政策審議会委員、中央教育審議会キャリア教育・職業教育分科会委員、若者の包括的自立支援方策に関する検討会座長などを歴任。主な著書に、『若者が「社会的弱者」に転落す』(洋泉社)『若者策の展開』(『思想』No.983)、『人口減少社会のライフスタイル』(放送大学教育振興会)、『若者はなぜ大人になれないのか』(家族・国家・シティズンシップ) (監訳 新評論) などがある。



**講演者・提案募集中!** 2011年度は今後下記3回の研究会の開催を予定しています(開催日は講演者と調整し決定します)

#### 第2回

- ・テーマ:「SRW Applicationと技術」
- ・予定日(次の内、1日): 8/26(金)、8/29(月)、9/2(金)、9/5(月)、9/9(金)
- ・時間: 10:00-18:00
- ・場所: 東北大学サクラホール or ナノスピ4F会議室
- ・講演者: TBD (講演者募集中)

#### 第3回

- ・テーマ:「Globally to Competitiveな学生輩出のためにII-大学は何をすべきか」
- ・予定日(次の内、1日): 10/21(金)、10/24(月)、10/31(月)
- ・時間: 10:00-18:00
- ・場所: 東北大学サクラホール or ナノスピ4F会議室
- ・講演者(予定): Prof. Abbas Yongacoglu, Prof. Hamid Aghvami, 提案受付中

#### 第4回

- ・テーマ:「SRW技術一般-耐マルチパス技術」
- ・予定日(次の内、1日): 12/16(金)、12/19(月)、12/22(木)
- ・時間: 10:00-18:00
- ・場所: 東北大学サクラホール or ナノスピ4F会議室
- ・講演者: TBD (講演者募集中)